

<今号のもくじ>

- 1. 第26回研究大会 [12月3日(土)、4日(日)中央大学] のお知らせ..... 1
- 2. 学会4賞の募集 ..... 4
- 3. ご報告・お知らせ ..... 4

## 1. 第26回研究大会 [12月3日(土)、4日(日)中央大学] のお知らせ

### 1. 大会趣旨

#### 「震災復興と日本再生のための政策対応・制度改革」

東日本大震災は、未曾有の規模の複合的災害であり、日本の経済社会に大打撃を与え、世界秩序にも影響を与えようとしています。この災害によって、日本経済社会が内包する制度の問題点も浮き彫りになってきました。震災復興のための政策はどうあるべきか、震災復興を契機として、どのような制度改革による日本の再生が望まれるのか。議論は、復興対策が中心になるとはいえ、同時に、中・長期的な課題である少子高齢化を伴った人口減少なども視野に入れねばならないと考えます。また、グローバル化と国際的自由化の流れのなかで、国際的比較の視点での検討も必要となります。主要な課題領域に沿って、「復興のための財源調達と政策対応・制度改革」、「復興のための地域再生・まちづくり」、「エネルギー政策転換と再生可能エネルギーの促進」といった3つの分科会を用意しました。ほかに、共通論題については、産業再生、NPO活動と国際支援、地方分権とガバナンスなどに関するテーマでの報告が期待されます。大会は、震災から9ヶ月を経過しての開催になります。このことから、政策対応には、政策展開の検証と今後の課題の双方が含まれます。会員諸氏の自由な立場からの活発な議論への参加を期待致します。



塩見英治実行委員長

第26回研究大会実行委員長 塩見 英治  
(中央大学)

### 2. 大会開催要領

日 程：2011年12月3日(土)～12月4日(日)

テーマ：「震災復興と日本再生のための政策対応・制度改革」

会 場：中央大学多摩キャンパス (多摩モノレール「中央大学・明星大学」駅から徒歩1分)

### 3. 報告募集

#### (1) 共通論題・自由論題

- ・共通論題「震災復興と日本再生のための政策対応・制度改革」：12月3日 13:00～15:00（予定）
- ・自由論題：12月3日 10:00～12:00（予定）

報告を希望される方は、**9月24日（土）**までに、「第26回大会報告希望」と明記し、①共通論題報告、自由論題報告の別、②報告テーマ、③報告要旨（1,000字程度）、④氏名・所属・連絡先（住所、電話、FAX番号、メールアドレス）を下記の学会事務局宛に電子メールかFAXでお送りください（書式自由）。

宛先 E-mail : japan@ciriec.com FAX : 03-3945-7415

#### (2) 奨励賞報告：12月3日 10:00～12:00

大学院生（修士課程・博士課程）の学会発表について、数点に「奨励賞」を授与します。院生は、学会発表に際して、この賞への応募が前提になります。奨励賞に応募される方は、**8月31日（水）**までに、「奨励賞応募希望」と明記し、①奨励賞報告希望、②報告テーマ、③報告要旨（1,000字程度）、④氏名・所属・連絡先（住所、電話、FAX番号、メールアドレス）を下記の学会事務局宛に電子メールかFAXでお送りください（書式自由）。

宛先 E-mail : japan@ciriec.com FAX : 03-3945-7415

応募資格：大学院修士課程・博士課程およびそれに準ずる者

事前審査：**2011年8月31日（水）**までに1,000字程度の報告概要を提出

審査発表：2011年9月15日までに事前審査による学会報告の可否は、本人に通知します。

提出論文：本会投稿規定・要領（ニューズレター）による12,000字のフルペーパー

（9月15日に報告が認められた方のみ、論文を提出していただきます）

論文締め切り：**2011年10月15日（土）**（消印有効）

宛先 E-mail : japan@ciriec.com FAX : 03-3945-7415

（大学院生の報告は必ず奨励賞に応募してください。報告が認められた方は、10月31日までに報告要旨（4,000字程度）の提出もお願いいたします。）

### 4. 大会プログラム（案）

#### 【2011年12月3日（土）】

- |                                      |             |
|--------------------------------------|-------------|
| ◇第1セッション<奨励賞報告><自由論題報告>              | 10:00～12:00 |
| ◇理事会                                 | 12:00～13:00 |
| ◇第2セッション<共通論題報告>                     | 13:00～15:00 |
| テーマ：「震災復興と日本再生のための政策対応・制度改革」         |             |
| ◇第3セッション<分科会報告I>                     | 15:10～17:10 |
| ・「震災復興財政と政策対応・制度改革」                  |             |
| コーディネーター：片桐正俊（中央大学教授）                |             |
| パネリスト：植田和弘（京都大学大学院経済学研究科教授）          |             |
| 富田俊基（中央大学法学部教授）                      |             |
| 佐藤主光（一橋大学大学院経済学研究科教授・政策大学院大学教授）      |             |
| ◇第4セッション（CIRIEC International セッション） | 15:10～17:10 |
| ・「CIRIEC とアジア・日本との連携」                |             |

報告者：今村 肇（東洋大学経済学部教授）

その他

◇懇親会 会費 5,000 円 中央大学多摩キャンパス 1 号館 1410 号室 17:00～19:00

**【2011 年 12 月 4 日（日）】**

◇第 5 セッション＜分科会報告Ⅱ＞ 10:00～12:00

・「復興のための地域再生・まちづくり」

コーディネーター：山崎 朗（中央大学経済学部教授）

パネリスト：大西 隆（東京大学先端科学技術研究センター教授、東日本震災復興会議委員）

森地 茂（政策研究大学院大学特別教授、政策研究センター所長）

ほか未定

◇第 6 セッション＜分科会報告Ⅲ＞ 10:00～12:00

・「エネルギー政策転換と再生可能エネルギーの促進」

コーディネーター：松原 聡（東洋大学経済学部教授）

パネリスト：植田和弘（京都大学大学院経済研究科教授）

野村宗訓（関西学院大学経済学部教授）

ほか未定

◇第 7 セッション＜招待講演＞ 13:00～14:00

・「地方分権とガバナンスー震災を超えて」

講演者：佐々木信夫（中央大学教授）

◇第 8 セッション＜シンポジウム＞ 14:00～15:40

・「震災復興と日本再生のための政策対応・制度改革」

コーディネーター：未定

パネリスト：各分科会のコーディネーター、学会連携のメンバー

◇総会・表彰式 15:50～16:20

**5. 日程**

12月3日（土）		12月4日（日）	
9:00	受付	9:00	受付
10:00	第1セッション	10:00	第5セッション 分科会報告Ⅱ 復興のための地域再生・まちづくり
	奨励賞報告		第6セッション 分科会報告Ⅲ エネルギー政策転換と再生可能エネルギーの促進
	自由論題報告		
12:00	昼食	12:00	昼食
13:00	第2セッション 共通論題報告 震災復興と日本再生のための政策対応・制度改革	13:00	第7セッション 招待講演
15:00	休憩	14:00	第8セッション 共通論題シンポジウム 震災復興と日本再生のための政策対応・制度改革
15:10	第3セッション 分科会報告Ⅰ 震災復興財政と政策対応・制度改革	15:40	休憩
		15:50	総会・表彰式
	第4セッション CIRIEC International セッション CIRIECとアジア・日本の連携	16:20	
17:10	休憩		
17:30	懇親会		
19:30			

## 2. 学会 4 賞の募集

---

本学会には、4 つの学会賞があります。以下を参照の上、奮って応募ください。なお、審査の時間を確保するために、正式公募は4月に開始し、締切は賞により異なりますのでご注意ください。

なお、修士論文賞は、募集の日程等が変更になりました。2011 年度に提出する修士論文が対象になります。このため、修士論文提出後に、それを 12,000 字にまとめたものを提出いただき審査いたします。論文提出締め切りは、2012 年 2 月、発表・授賞は 3 月となります。提出先は、いずれも学会事務局です。

### 修士論文賞（応募資格の特例のお知らせ）

修士論文を 2011 年度提出予定の院生の方に応募資格があります。当賞応募方法を変更したため、2010 年度修士論文提出者には、当賞応募機会がありませんでした。そこで、今回に限り、報告者の特例として修士論文を 2011 年度提出予定の院生のほか、2010 年度提出した院生も含みます。応募者は学会員である必要はありませんが、学会員である指導教官の推薦が必要となります。対象者の方の応募を期待するとともに、修士論文を指導している学会員の先生方に、院生の応募を促していただきたいと存じます（推薦書は Web ページにあります）。

優秀論文、4 点を顕彰し、3 月の研究会での報告を認めます。さらにその研究会でのプレゼンテーション評価を加えて、最優秀論文 1 点を顕彰します。詳細は、上記の規定を参照ください。

応募資格：上記の通り

提出論文：本会執筆要領（6 頁）による、12,000 字のフルペーパー（修士論文をまとめたもの）

締 切：2012 年 2 月 10 日（金）消印有効

審査発表：2012 年 3 月 1 日 事前論文審査の結果は、本人と指導教官に通知します。

### 奨励賞

大学院生（修士課程・博士課程）の学会発表について、数点に「奨励賞」を授与します。院生は、学会発表に際して、この賞への応募が前提となります。詳しいことは、1 頁～2 頁をご覧ください。

### 学会賞、尾上賞

例年通り、「学会賞」（若手の著作）、「尾上賞」（実績のある研究者の業績、学会活動への貢献）を募集します。

対象期間：2009 年 7 月 1 日～2011 年 6 月 30 日までに公刊された会員による著書等

締 切：2011 年 8 月 31 日（水）消印有効

応募に際して、推薦書（自薦・他薦）、著書等を 1 冊お送り下さい。

## 3. ご報告・お知らせ

---

### 1. 第 29 回 CIRIEC 国際大会

日 程：2012 年 9 月 12 日（水）～15 日（土）

開催場所：オーストリア ウィーン

### 2. 若手研究会報告

東日本大震災の影響で延期しました若手研究会は、6 月 25 日東洋大学にて開催されました。以下の 4 つの報

告があり、非常に活発な討論が行われました

(1) 13:30～14:20 座長：仲上健一（立命館大学）

「バイオ燃料の持続可能性基準 - EUと米国の比較分析 -」

報告者：ペ・ナンジュ（京都大学大学院地球環境学舎）

討論者：野村宗訓（関西学院大学）

(2) 14:20～15:10 座長：仲上健一（立命館大学）

「地方自治体の住宅用太陽光発電普及補助金の費用対便益評価」

報告者：花田真一（東京大学大学院経済学研究科博士課程）

討論者：齊藤由里恵（徳山大学）

(3) 15:20～16:10 座長：塩見英治（中央大学）

「討論型世論調査の今後の展望」

報告者：渡邊兼盛（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程）

討論者：片桐徹也（多摩大学）

(4) 16:10～17:00 座長：塩見英治（中央大学）

「IT起業家とソーシャルメディアが生み出した匿名寄付の連鎖 「タイガーマスク現象」と呼ばれた新しい寄付の回路を事例に」

報告者：西田亮介（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程）

討論者：和田尚久（東洋大学）

### 3. 第11回公共部門経営に関する国際シンポジウム後援

日時：2011年10月16日（日）～17日（月）

開催場所：日本大学商学部（☎157-8570 東京都世田谷区砧5-2-1 最寄り駅：小田急線祖師ヶ谷大蔵駅）

国際公共経済学会からの参加者

仲上健一会長：10月16日10時10分より、テーマに関連して10分程度のスピーチ

衣笠達夫会員：10月17日10時15分より報告

下村仁士会員：10月17日11時15分より報告

詳しくは、学会のホームページをご覧ください。

### 4. 理事会報告

6月25日に、東洋大学白山キャンパスにおいて理事会を開催し、自由論題の報告を活性化するためには、学会誌の投稿条件に学会での報告を義務付けるべきであるということが承認されました。来年刊行する『国際公共経済研究』第23号から、自由論題を投稿するには、12月の研究大会か3月の若手研究会での報告が義務になります。

### 5. 新入会員受付について

昨年度から、新入会員の受付方法が変わりました。学会ホームページでの申請が可能となりましたので、ぜひ新会員をお誘いください。

## 6. 次回研究大会の開催校決定

2012年12月に開催予定の第27回研究大会は、京都大学に決まりました。詳細は決まり次第、ホームページ、今後のニューズレターでお知らせいたします。

### 国際公共経済学会論文執筆要領

- (1) 論文は、日本語または英文で書かれたものとして、図表を含め、12,000字以内とする。英語の場合は、日本語の枚数に換算する。表題・執筆者名・所属機関名・キーワード（5語程度）を日・英文で明記する。また、英文要旨（5行程度）を必ずつける。
- (2) 論文は、原則として横書きとし、ワープロ原稿とする。
- (3) 表記は、現代仮名遣い、常用漢字とする。
- (4) 本文に挿入する表・グラフ・地図等、文字以外の資料については、必ずそのまま原紙として使用できる状態で送付すること。挿入箇所を本文中に明示する。
- (5) 注は文中の肩に（注1）のように記し、論文末尾にまとめる。
- (6) 章・節は、1、2、1）、2）、（1）、（2）の記号による。
- (7) 引用文献は注記する。記載は以下の方法による。

著書（単独）の場合	執筆者名、[出版年月]、『書名』、出版社、引用ページ
著書（複数）の場合	執筆者名、[出版年月]、「論文名」、編集者名、『書名』、出版社、引用ページ
論文の場合	執筆者名、[出版年月]、「論文名」、『雑誌名』、巻号、引用ページ
- (8) 提出：メール [japan@ciriec.com](mailto:japan@ciriec.com)（Wordあるいは一太郎。PDFは不可）

☆学会情報は、最新のをホームページ <http://ciriec.com/> に掲載してありますので、適宜ご参照ください。